

## 平成29年度 社会教育委員会（第3回）会議録

日時／平成29年9月11日(月) 午後7時～9時

会場／生涯学習センター 1階 団体活動室

○赤字は会議録

### 1. 開 会

### 2. 委員長あいさつ 土屋 八重子委員長

8/25に行われた東部地区社会教育委員等研修会で、講師の栃木県教育委員会事務局生涯学習課長補佐・国立教育政策研究所フェロー 井上 昌幸氏の講演があり、社会教育委員は、アンテナを高くし市民のニーズを汲み取り、提言等が施策化・事業化されることが望ましいとのこと。

### 3. 報告事項

#### ①各種委員会の会議報告等

特になし。

#### ②第48回関東甲信越静岡社会教育研究大会静岡大会（11/16・17）について

小田委員、大島委員、水口委員、大庭操委員、森岡委員、課長が出席予定（水口委員、大庭操委員については17日は欠席）。

土屋委員長、大庭副委員長、高橋委員、山本主事、高橋は実行委員として出席。

参加者負担金について、小田委員、大庭操委員は後日。他の方は集金済。

#### ③市民団体交流会実行委員会の進捗状況について

別紙のとおり実行委員会で決定。

#### ④静岡県社会教育委員連絡協議会個人会費の納入について

第2回社会教育委員会で徴収した「静岡県社会教育委員連絡協議会個人会費」の6,500円（500円×13名）について、平成29年8月8日に静岡銀行裾野支店より振込。

### 4. 協議事項

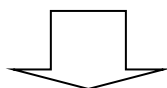
#### ・テーマについて

前回のグループワークより・・・大まかな方向性

1 グループ（白井委員、横山委員、大島委員、大庭操委員）→小学校区で縦・横のつながりの組織をつくる。

2 グループ（小杉委員、小田委員、望月委員、森岡委員）→地域で子どもを育てる人間関係づくり

3 グループ（大西委員、水口委員、高橋委員、大庭副委員長）→地域の団体をつなぐ社会教育委員会

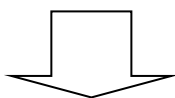


1・2グループについては、子どもを地域が育てることによって地域が活性化していく。  
3グループについては、地域のつながりを作る中で社会教育委員会が係わっていく。

1・2グループに相当する活動が、コミュニティスクールとして始まっていて、その中心が「学校支援地域本部」。社会教育がコミュニティスクールとどう係わっていけるのか？ということの研究すると、1・2グループの提案と合致する。

しかし、社会教育は子どもを中心に考えるのではなく、地域づくりを中心に据える考え方なので、子どもだけではなく、市民（いろんな世代・団体）の学びをつなげることを考えるのが、社会教育委員会の考えるべきところではないか・・・？

地域を活性化するという目的で、社会教育委員会が絡むのがいいのではないか？



日本全国、どこも同じような問題を抱えているような状況であるが、地域独自の特性もある。



「裾野独自の地域コミュニティづくり」をテーマ（仮）としたらどうか。次回までにこのテーマでよいかを検討してくる。

また、市民のニーズとかけ離れてはよくないので、市民のニーズの情報をどこから入手するのか等、このテーマでやっていくにあたり、不安な部分等を各自考えてくる。

さらに、こういう内容も含めたい、こういうことをしてみたい等あれば考えてくる。

「市民活動の集い」がこのテーマの枝葉事業となる。

次回（11月）はテーマを決定する。次回以降、テーマを達成するには何が出来るのかを考えていく。

## 5. その他

- ・第4回会議の日程について

次回開催日：11月 21日（火） 19：00～ 生涯学習センター 1階 団体活動室

※予定日：7日（火）、14日（火）、15日（水）、21日（火）、30（木）

## 6. 閉 会 大庭 敏彦副委員長